

第2部課程第167期（平成25年5月9日～7月17日）

課目名	4-5 人権行政、児童虐待への対応と行政の役割
時限数	2時限
担当講師	<p>駿河台大学法学部教授 吉田 恒雄 <プロフィール> 1993年4月～現在 駿河台大学法学部教授 NPO法人「児童虐待防止全国ネットワーク」理事長 埼玉県児童虐待死亡等重大事例検討委員会委員長 法務省法制審議会児童虐待防止関連親権制度部会委員 厚生労働省社会保障審議会児童部会児童虐待防止のための親権のあり方に関する専門委員会委員 等を歴任 主な著書 『児童虐待防止法制度一改正の課題と方向性』(編著) 尚学社 2003年 『児童虐待への介入—その制度と法 (増補版)』(編著) 尚学社 1999年 『親族法・相続法 (第3版)』(共著) 尚学社 2011年</p>
ねらい	児童虐待の原因、その影響等を踏まえて、虐待の予防、介入、保護・支援の段階で「切れ目のない支援」を行うための法制度を概観し、虐待への対応のために自治体が果たすべき役割を理解し、課題を克服するための方策を考えることをねらいとする。
講義概要	<p>児童虐待に関する現状とその対応のための制度とその運用状況を概観し、現在の対応の課題を示す。</p> <p>■第1回：児童虐待の現状、発生の背景・原因、虐待された児童への影響、社会的影響等を説明し、法制度のあり方を考える材料とする。</p> <p>■第2回：児童虐待防止法、児童福祉法、民法、刑法等、児童虐待に関する法制度を概観する。とくに要保護児童対策地域協議会による機関連携の重要性等、自治体が果たすべき役割を考えることとする。</p>
受講上の注意	<p>事前に厚生労働省のホームページから、児童虐待の現状と対策について、あらかじめ理解しておくのが望ましい。</p> <p>http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dv/dl/120502_01.pdf</p>
使用教材	講義レジュメ (その他、参考資料配付予定)
効果測定	なし
その他 (他の課目との関連)	なし